

認定書

国住指第237号
平成27年6月4日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第九号及び同法施行令108条の2第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-4082
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（不燃材料（金属板））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材 (不燃材料 (金属板))

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ (mm)	$3.0_{\pm 0.3}$ 以下
表面化粧材の質量 (g/m^2)	$495.0_{\pm 49.5}$ 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様														
表 面 化 粧 材	<p>塩化ビニル系樹脂壁紙</p> <p>…厚さ$3.0_{\pm 0.3}$mm以下</p> <p>質量$495.0_{\pm 49.5}\text{g}/\text{m}^2$以下 (有機質量$190.0_{\pm 19.0}\text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>構成:</p> <p>[1]化粧: (1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は(1)と(2)の組合せとする</p> <p>…質量$25.0_{\pm 2.5}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$5.0_{\pm 0.5}\text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>(1)合成樹脂: 質量$15.0_{\pm 1.5}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$5.0_{\pm 0.5}\text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>構成 ($\text{g}/\text{m}^2$)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂※¹</td><td>……………$5.0_{\pm 0.5}$以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、ポリエステル系は4.0以下とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料※⁷</td><td>……………$0\sim 14.0_{\pm 1.4}$</td></tr> <tr> <td>無機質系添加剤※²</td><td>……………$0\sim 14.0_{\pm 1.4}$</td></tr> </table> <p>(2)印刷インク: 質量$15.0_{\pm 1.5}\text{g}/\text{m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$5.0_{\pm 0.5}\text{g}/\text{m}^2$以下)</p> <p>構成 ($\text{g}/\text{m}^2$)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂インク※³</td><td>……………$5.0_{\pm 0.5}$以下</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料※⁷</td><td>……………$0\sim 14.0_{\pm 1.4}$</td></tr> <tr> <td>無機質系添加剤※²</td><td>……………$0\sim 14.0_{\pm 1.4}$</td></tr> </table> <p>(3)なし</p>	合成樹脂※ ¹	…………… $5.0_{\pm 0.5}$ 以下	(但し、ポリエステル系は4.0以下とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁷	…………… $0\sim 14.0_{\pm 1.4}$	無機質系添加剤※ ²	…………… $0\sim 14.0_{\pm 1.4}$	合成樹脂インク※ ³	…………… $5.0_{\pm 0.5}$ 以下	無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁷	…………… $0\sim 14.0_{\pm 1.4}$	無機質系添加剤※ ²	…………… $0\sim 14.0_{\pm 1.4}$
合成樹脂※ ¹	…………… $5.0_{\pm 0.5}$ 以下														
(但し、ポリエステル系は4.0以下とする)															
無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁷	…………… $0\sim 14.0_{\pm 1.4}$														
無機質系添加剤※ ²	…………… $0\sim 14.0_{\pm 1.4}$														
合成樹脂インク※ ³	…………… $5.0_{\pm 0.5}$ 以下														
無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁷	…………… $0\sim 14.0_{\pm 1.4}$														
無機質系添加剤※ ²	…………… $0\sim 14.0_{\pm 1.4}$														

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	[2] 主素材：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする
	(1) 塩化ビニル系樹脂
	…厚さ 2.3 ± 0.23 mm以下
	質量 320.0 ± 32.0 g/m ² 以下※ ⁴ (有機質量 120.0 ± 12.0 g/m ² 以下※ ⁵)
	構成 (g/m ²) ※ ⁴
	塩化ビニル樹脂 …… 89.6 \pm 9.0以下
	可塑剤※ ⁶ ・減粘剤(カルボン酸エステル系) …… 48.2 \pm 4.8以下
	(但し、減粘剤は、0～8.5 \pm 0.9の範囲とする)
	無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁷ …… 17.9 \pm 1.8以上
	有機質系発泡剤(アジカルボンアミド系、オキシスチレンスルホニトリド)
	…… 0～4.0 \pm 0.4
	有機質系安定剤(亜鉛系化合物) …… 2.8 \pm 0.3以下
	有機質系顔料※ ⁸ …… 0～2.3 \pm 0.2
	添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) …… 0～1.7 \pm 0.2
	(2) 塩化ビニル系樹脂
	…厚さ 2.3 ± 0.23 mm以下
	質量 310.0 ± 31.0 g/m ² 以下※ ⁴ (有機質量 110.0 ± 11.0 g/m ² 以下※ ⁵)
	構成 (g/m ²) ※ ⁴
	塩化ビニル樹脂 …… 82.1 \pm 8.2以下
	可塑剤※ ⁶ ・減粘剤(カルボン酸エステル系) …… 44.3 \pm 4.4以下
	(但し、減粘剤は、0～7.9 \pm 0.8の範囲とする)
	無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁷ …… 16.4 \pm 1.6以上
	有機質系発泡剤(アジカルボンアミド系、オキシスチレンスルホニトリド)
	…… 0～3.6 \pm 0.4
	有機質系安定剤(亜鉛系化合物) …… 2.5 \pm 0.3以下
	有機質系顔料※ ⁸ …… 0～2.1 \pm 0.2
	添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) …… 0～1.6 \pm 0.2
	(3) 塩化ビニル系樹脂
	…厚さ 2.3 ± 0.23 mm以下
	質量 300.0 ± 30.0 g/m ² 以下※ ⁴ (有機質量 100.0 ± 10.0 g/m ² 以下※ ⁵)
	構成 (g/m ²) ※ ⁴
	塩化ビニル樹脂 …… 74.6 \pm 7.5以下
	可塑剤※ ⁶ ・減粘剤(カルボン酸エステル系) …… 40.2 \pm 4.0以下
	(但し、減粘剤は、0～7.1 \pm 0.7の範囲とする)
	無機質系充てん材、無機質系顔料※ ⁷ …… 14.9 \pm 1.5以上
	有機質系発泡剤(アジカルボンアミド系、オキシスチレンスルホニトリド)
	…… 0～3.3 \pm 0.3
	有機質系安定剤(亜鉛系化合物) …… 2.3 \pm 0.2以下
	有機質系顔料※ ⁸ …… 0～1.9 \pm 0.2
	添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) …… 0～1.4 \pm 0.1

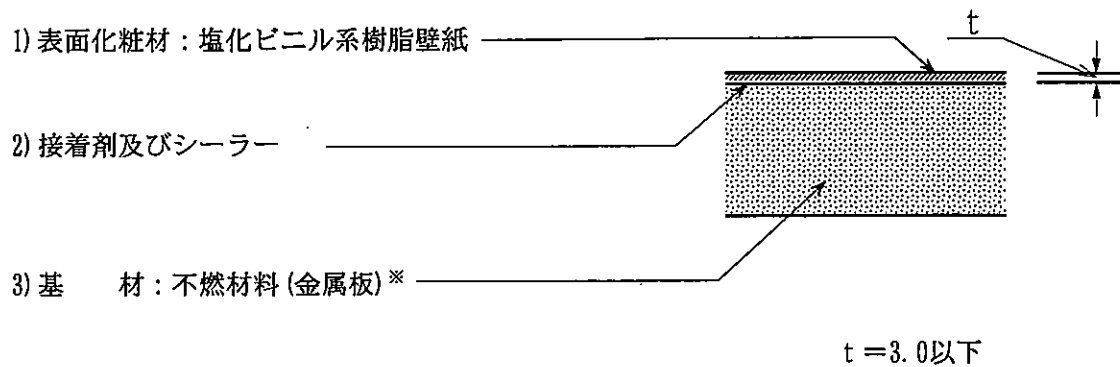
項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※9}：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙：</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>①有機繊維^{※10} …$65.0_{\pm 6.5}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※11}$15.6_{\pm 1.56}$以下とし、かつ有機質量を$52.0_{\pm 5.2}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …$8.8_{\pm 0.88}$以下</p> <p>有機繊維^{※10} …$46.0_{\pm 4.6}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$47.0_{\pm 4.7}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※11}は$1.0_{\pm 0.1}$～$16.6_{\pm 1.66}$とする。)</p> </div> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>①無機質系充てん材^{※7} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>②なし</p> </div> <p>(2) 裏打紙：</p> <p>([2] 主素材が(2)又は(3)の場合に限る)</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$75.0_{\pm 7.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>①有機繊維^{※10} …$75.0_{\pm 7.5}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※11}$18.0_{\pm 1.80}$以下とし、かつ有機質量を$60.0_{\pm 6.0}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …$10.1_{\pm 1.01}$以下</p> <p>有機繊維^{※10} …$53.0_{\pm 5.3}$以下</p> <p>(但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$54.0_{\pm 5.4}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※11}は$1.0_{\pm 0.1}$～$19.2_{\pm 1.92}$とする。)</p> </div> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> <p>①無機質系充てん材^{※7} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$</p> <p>②なし</p> </div>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙： ([2]主素材が(3)の場合に限る) …厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下 質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$85.0_{\pm 8.5}$g/m²以下) 構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1)有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※10} …$85.0_{\pm 8.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※11}$20.4_{\pm 2.04}$以下とし、かつ有機質量を$68.0_{\pm 6.8}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …$11.6_{\pm 1.16}$以下 有機繊維^{※10} …$61.0_{\pm 6.1}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$62.0_{\pm 6.2}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※11}は$1.0_{\pm 0.1}$～$22.2_{\pm 2.22}$とする。)</p> <p>2)無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※7} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>※1:合成樹脂は、エチン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルキシン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。 ※2:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。 ※3:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロロース系、酢酸ビニル系、エチングリコールのいずれか、又は組合せとする。 ※4:質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。 ※5:有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。 ※6:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、イソキ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメリット酸系のいずれか、又は組合せとする。 ※7:無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、亜酸化亜鉛、シリカ、金属粉(アルミニウム)、鉱物粒及び鉱物粉のいずれか、又は組合せとする。 ※8:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フラジオン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。 ※9:裏打材は、紙、無機質紙、不織布(non woven paper)のいずれかとする。 ※10:有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※11}のいずれか、又は組合せとする。 ※11:合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及び シーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量 $140_{\pm 14}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $100_{\pm 10}\text{g/m}^2$ 以下) 構成: 以下の [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>[1] 接着剤及びシーラー</p> <p>(1) 又は (1) と (2) の組合せとする …質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>(1) でん粉系接着剤 …質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> 組成 (質量%) </div> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>でん粉のり</div> <div>80_{±2}以上</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>補強剤※12</div> <div>20_{±2}以下</div> </div> </div> </div> <p>(又は補強剤なし)</p> <p>(2) シーラー: 合成樹脂※13 …質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>[2] 防錆処理剤: 鉛・クロムフリーさび止めペイント (JIS K 5674 又は JIS K 5674 同組成品)</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) フタル酸系樹脂 …質量 $80_{\pm 8}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>(2) アクリル系樹脂 …質量 $80_{\pm 8}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> </div> <p>2) …質量 $120_{\pm 12}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $80_{\pm 8}\text{g/m}^2$ 以下) 構成: 以下の [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする</p> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>[1] 接着剤及びシーラー</p> <p>(1) 又は (1) と (2) の組合せとする …質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>(1) メチルセルロース系接着剤 …質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> 組成 (質量%) </div> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>メチルセルロース</div> <div>80_{±2}以上</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>補強剤※12</div> <div>20_{±2}以下</div> </div> </div> <p>(又は補強剤なし)</p> <p>(2) シーラー: 合成樹脂※13 …質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>[2] 防錆処理剤: 鉛・クロムフリーさび止めペイント (JIS K 5674 又は JIS K 5674 同組成品)</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) フタル酸系樹脂 …質量 $80_{\pm 8}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> <p>(2) アクリル系樹脂 …質量 $80_{\pm 8}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下)</p> </div> <p>※12: 補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルション、酢酸ビニル樹脂エマルションのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※13: 合成樹脂は、アクリル樹脂エマルション (アクリル酸エステル共重合体エマルション、メタクリル酸エステル共重合体エマルション)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルション、酢酸ビニル樹脂エマルションのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p> </div>

項 目	仕 様
基 材	不燃材料(金属板) 平成12年の建設省告示第1400号に例示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧を施されたものを及びアルミニウムを除くもの

4. 構造説明図(寸法単位: mm)



※平成12年の建設省告示第1400号に例示された鉄鋼及び金属板のうち、すでに化粧を施されたもの及びアルミニウムを除くもの